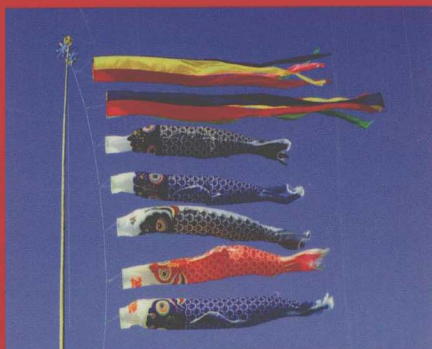


にほんごことわざじてん

日语 惯用句 词典

朱丽颖 编著



- 涵盖几大日语考试大纲要求的所有惯用句



北京语言大学出版社
BEIJING LANGUAGE AND CULTURE
UNIVERSITY PRESS

にほんごことわざじてん

日语 惯用句 词典

朱丽颖 编著



北京语言大学出版社
BEIJING LANGUAGE AND CULTURE
UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日语惯用句词典/朱丽颖编著. —北京:北京语言大学出版社, 2011. 1

ISBN 978-7-5619-2964-3

I. ①日… II. ①朱 III. ①日语-句型-词典
IV. ①H364.3-61

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 260395 号

书 名: 日语惯用句词典

责任印制: 陈 辉

出版发行: 北京语言大学出版社

社 址: 北京市海淀区学院路 15 号 邮政编码: 100083

网 址: www.blcup.com

电 话: 发行部 82303648/3591/3650

编辑部 82303393

读者服务部 82303653/3908

网上订购电话 82303668

客户服务信箱 service@blcup.net

印 刷: 北京联兴盛业印刷股份有限公司

经 销: 全国新华书店

版 次: 2011 年 3 月第 1 版 2011 年 3 月第 1 次印刷

本 本: 787 毫米×1000 毫米 1/32 印张: 19.5

字 数: 648 千字

书 号: ISBN 978-7-5619-2964-3/H · 10350

定 价: 39.80 元

凡有印装质量问题,本社负责调换。电话:82303590

前 言

任何一种语言在长期的发展过程中都有其自身的特点。例如日语中的惯用语及谚语的运用就是其重要的语言特点之一。它以句子的形式出现，在日常生活中使用频率很高，是日语学习过程中学习者需掌握的重要内容之一。通常我们把日语中的惯用形式称作惯用句，惯用句为固定搭配形式，通常由两个以上的单词构成，且其意义并不是各单词词义的简单堆砌，而表示一种新的含义。如果仅仅停留在对这些单词的字面直译或理解，往往难以确切地表达出这一特定词组或句子的原意，特别是难以揭示其深刻的内在寓意，有时甚至会闹出笑话。这也是日语语言交流中存在的难点之一。

一般来说，惯用句巧妙而灵活地运用了各单词本身所具有的含义。因此，在表达同一内容时，与其它表现形式相比，惯用句具有给人以深刻印象的效果。恰如其分地使用惯用句，可以使语言表达丰富，生动活泼；此外，掌握了惯用句，还能够充分地理解他人的言谈及文章，也可以避免不必要的误会。因此，为了帮助广大读者能够准确地解读和掌握日语惯用句和谚语的寓意内涵，特编纂了这本

《日语惯用句词典》。

本词典的特点：

1. 选词新。除了选用日常语言、生活中使用频率较高的惯用句外，还从日本近20年来的报纸、小说及近几年的国际能力测试及日语专业四、八级考题中收集了大量的惯用句。

2. 本词典与其它同类书不同，不仅有日文读音，同时还有中、日文两种解释及例句，以便读者更好地理解这些惯用句。

3. 本词典词条丰富，文字简练，释义准确，作者在潜心研究和编纂本词典的过程中，先后查阅了多种国内外同类辞书，与已出版的中外同类辞书相比较，收录的词条更加实用。

4. 本词典按五十音图顺序编写，因此查阅方便。

最后，衷心地希望这本《日语惯用句词典》在日汉语言文字交流中能为广大读者提供一点有益的帮助。同时，鉴于作者的水平有限，本词典的编纂难免存在错误，敬请广大读者指正。

日语惯用句词典凡例

一、收词范围

本词典除了选用日常生活中使用频率较高的惯用句外，还从报纸、小说及日语专业四、八级考试及日语能力测试一、二级考试中吸收了大量的词条。

二、句义释定原则

本词典在考虑惯用句的日、汉释义时，给出日、汉两种惯用的词义。中文解释力求精悍贴切，采取通俗易懂的解释方法。为了使读者能够准确地把握意义及用法，在解释后均附有例句，例句的中文翻译在符合原意并最大限度地表现词条惯用句意义或用法的前提下，力求流畅、通俗，使读者豁然贯通，耳目一新。由于时间有限，有的句子，由于场合不同，可以具有多种不同的意义及用法，这些都一一加以注明；但例举时，仅限于举出比较常用的一例，其它用法则类推。

三、编排方式

1. 本词典所有惯用都使用汉字假名混合形式，无论是日文读音，还是浊音、半浊音均按五十音图的顺序排列，但拗音按普通发音排列，外来语的长音符不予考虑。

2. 每个惯用句含以下内容：日语习惯表达形式；本惯用的读音用圆括号括起；其后给出中文意义；之后是日文解释；最后为例句。

例：道草を食う（みちくさ）➡在途中耽搁；路上耽搁

【訳】途中で他のことをして時間を費やす。

【例】弟は学校の帰りに道草を食っては、母にしかられてい
る。/弟弟从学校回来的途中闲逛，被妈妈训斥了。

四、用字

原则上采用汉字及现代假名注音；有些采用了不太常用，但作为传统表示法正在被广泛应用的汉字。

あ

ああ言えばこう言う (ああいえばこういう) ➔ 你说东，他说西；强词夺理；抬杠

㊦ 相手の言葉に対して素直にならずに、あれこれと尻理屈をつけて肯定しないこと。うるさ型。

㊧ まったくこの子はあきれたね。ああ言えばこう言うで、少しも人の言うことを聞こうとしないのだから。/简直拿这个孩子没办法！你说吧，他总有理由，一点也不肯听别人的话。

愛縁奇縁 (あいえんきえん) ➔ 有缘；奇缘；心有灵犀；千里姻缘一线牵

㊦ 人と人が愛し合ったり和合したりする微妙な心理作用を言う。

㊧ こんな片田舎でお会いするとは愛縁奇縁ですね。/在这么偏僻的乡村里相遇真是有缘。

愛多き者は即ち法立たず (あいおおきものはすなわちほうたたず) ➔ 爱多则法不立；重情枉法

㊦ 愛情も度が過ぎれば、民衆がつけあがって法が守られなくなる。

㊧ けじめをつけることは大切だ。愛多き者は即ち法立たずと言ったろう。/划清界限很重要，所谓爱多则法不立。

愛多ければ憎いも亦多し (あいおおければにくいもまたおおし) ➔ 爱之深，恨之切

㊦ 前項の言葉と違い、これは愛情そのもののの中に憎しみが宿つているということで、愛憎は表裏一体をなすものである。

㊧ 彼女のことは好きだが嫌いな面もある。「愛多ければ憎いも亦多し」だ。/对她又喜欢又讨厌，所谓“爱之深，恨之切”。

愛が多ければ憎しみ至る (あいがおおければにくしみいたる) ➔ 被爱越多，越易遭人嫉恨

㊦ 愛されることが多ければ他人から嫉まれて憎しみを招くことになるのを言う。

㊧ 名人になれば嫌いな事も多いよ。愛が多ければ憎しみ至ると言うだろう。/如果成为名人就会有很多讨厌的事情，所谓被爱越多，越易遭人妒恨。

愛敬を振りまく (あいきようをふりまく) ➔ 乱献殷勤；亲切，好感；和颜悦色

㊦ 人にいい感じを与えるような態度や顔つき、ことばなど。愛想やお世辞。

㊧ いつもは威張っているあの男が、今度の選挙に立候補するためか、今日はやたらに愛敬を振りまいている。/一向盛气凌人的那家伙，也许是为了在这次竞选中当选为候选人吧，今天见了谁都献殷勤。

合言葉にする (あいことばにする) ➔ 以…为（纲领性）口号

㊦ 仲間同士の主張を端的に表す標語。

【例】民主主義を合言葉にしてきた戦後政治も、最近は一つの転換期に差し加かってきたようだ。/以民主主义为口号的战后政治，最近似乎也进入了一个转折时期。

愛想も小想も尽き果てる (あいそもこそもつきはてる) ➡ 讨厌；厌恶；厌烦；嫌恶；唾弃；不搭理

【釈】「愛想が尽きる」を強めた言い方。

【例】選挙が終わると、公約を平気で反故にする政治家には愛想も小想も尽き果てた。/对于选举一结束就公然毁约的政治家们已经讨厌透了。

愛想を尽かす (あいそを) ➡ 讨厌；厌烦；嫌恶；唾弃；不搭理

【釈】人や世の中の物事などにあきれて嫌になり、見限る。

【例】私の目の前でほかの女性を誘惑するなんて、つくづく愛想をつかす。/在我眼前就诱惑别的女人，实在是讨厌透了。

愛想がいい (あいそがいい) ➡ 和蔼可亲；亲切

【釈】人にいい感じを与える態度や言葉。

【例】この店の者は客に愛想がよくない。/这家商店的人对客人态度不好。

愛想が悪い (あいそがわるい) ➡ 不亲切；讨厌

【釈】人に悪い感じを与える態度や言葉。

【例】彼は私に非常に愛想が悪いです。/他对我态度很不好。

愛想が尽きる (あいそが) ➡ 讨厌；厌恶；厌烦；嫌恶；唾弃；不搭理

【釈】人や世の中の物事などにあきれて愛情や好意などが全くなり、嫌になってしまう。

【例】あれほど念を押したのに平気で約束を破るのだから、ほとほと愛想が尽きた。/那样叮嘱他都无济于事而（公然）失约，实在让人讨厌。

開いた口が塞がらない (あいたくちがふさがらない) ➡ (用于贬义) 目瞪口呆；呆若木鸡；发呆；出神

【釈】人の行為のひどさ、ばかばかしさ、厚かましいことに思わず口があいてしまうほど驚いたりあきれたりする。

【例】上司に暴言を吐いたという彼の話を聞いて、開いた口が塞がらない。/听他对上司口吐狂言目瞪口呆。

開いた口に戸が立たぬ (あいたくちに戸がたたぬ) ➡ 人嘴难封；众口难防

【例】他人の口は封ずることはできない。自分の悪い噂や勝手な評判や陰口をされても防ぎようがない。

【例】開いた口に戸が立たぬから、そんなことをするのは用心の

上には用心が肝要だ。/因为众口难防，所以做那样的事一定要小心。

開いた口へ牡丹餅 (あいたくちへばたもち) → 福自天降

釈 思いがけない幸運がめぐってくることのたとえ。

例 こんな幸運に恵まれるのはほんとうに開いた口へばたもちのようだ。/如此幸运，宛如天上掉馅饼。

相槌を打つ (あいづちをうつ) → 原义为两个铁匠轮流打锤，对打锤，打帮锤；现转义为帮腔，搭腔，随声附和，点头，同意

釈 もと鍛冶で交互に槌を打ち合う意、そこから転じて、対話で相手のいうことにうなずいたり、調子を合わせたり、賛同を示したり、話を促進したりする言葉をはさむ。相手にとって不足はない相手の力も相当なもので、戦ったり、競ったりする相手として十分である。互角に戦える相手である。

例 おばあちゃんと遠足に行きましょうという「それはいいな」とお父さんが相槌を打ちました。/一说和奶奶去郊游，爸爸就随声附和说“那太好了”。

相手にする (あいてにする) → 理睬；共事

釈 事を一緒に行う人。また、はたらきかける対象；事を争う時の一方の人。

例 だれも彼女を相手にしなかった。/谁都不理睬她。

相手になる (あいてになる) → 匹敌；称得上对手

釈 何かをするとき、対象となる人。

例 テニスではとうてい君の相手にはなれない。/网球上没有比得上你的。

相手のない喧嘩はできぬ (あいてのないけんかはできぬ) → 一个巴掌拍不响；孤掌难鸣

釈 どんな乱暴者でも相手がなければ喧嘩はできない。だから、どんなに喧嘩をしかけてきても相手にしなければ決して喧嘩は起こらない。

例 相手のない喧嘩はできぬから、二人ともやましいことがある。/因为一个巴掌拍不响，所以两个人都有缺点。

合いの手を入れる (あいてをいれる) → 呐喊助威

釈 他の人の話の間にそれを調子づけるような掛け声などを差し挟む。

例 聴衆が合いの手を入れるのに気をよくして、演説に一段と熱が入る。/在听众喝彩助威下，他（她）演讲得更起劲了。

愛の鞭 (あいのおむち) → 出于爱护之心而采取的严厉态度（手段）

釈 相手の将来に対する思いやりから、涙を吞んで、あえて厳しい態度に出ること。

例 あの学生を停学処分したのは、教育者としての愛の鞭だ。/给予那个学生停学处分，是出于教育工作者对学生严父般的爱。

合間を縫う (あいまをぬう) → 插空儿

釈 なにかが続けている途中のとぎれた短い時間。

例 仕事の合間を縫って、二か月ぶりに床屋に行ってきた。/已有两个月没理发了，趁工作间隙，去了一趟理发店。

相も変わらず (あいもかわらず) → 照旧，仍旧，(和) 往常一样。

釈 依然と少しも変わらずいつものように同じ事を単調に繰り返していることをどちらかと言うと否定的に捕らえた言い方。

例 彼は冬の朝も相も変わらず散歩に出かけている。/冬天早晨他和往常一样到外面去散步。

会うは別れの初め (あうはわかれのはじめ) → 相逢为离别的开始，人生聚散无常。天下没有不散的筵席。

釈 会えば必ず分かれるときがくるということで。無常のたとえ。

例 そんなに遠くまで送らないでください。会うは別れの初めだから、ここで分かれましょう。/别送了，天下没有不散的筵席，我们就此而别吧。

阿吽の呼吸 (あうんのこきゅう) → 同心同德；配合默契；比喻两个人以上共同做一件事时相互配合默契的样子和心情

釈 共に一つの事をする時などの相互の微妙な調子や気持ち。特に、それが一致することに言う。

例 指揮者と楽団の阿吽の呼吸が合った見事な演奏は聴衆を魅了した。/指挥和乐团配合默契的精彩演奏使听众心旷神怡。

青息吐息 (あおいきといき) → 一筹莫展；长吁短叹

釈 嘆息する時や弱った時に出すためいき。また、そのためいきの出るような状態。

例 年末なのに資金繰りがつかず、青息吐息だ。/年底了，偏偏筹措不到资金，令人一筹莫展。

青くなる (あおく) → 脸色发青；吓白了脸；脸色发白

釈 顔から血の気が消えうせる意で、何かにひどく驚いたりおびえたりする様子。

例 打球の行く先に幼児がよちよち歩いているのを見て、一瞬青くなった。/看到打出去的球的前方有一幼儿蹒跚走路，刹那间吓

得脸色发白。

青写真を描く (あおじやしんをえがく) → 描绘蓝图；规划远景

釈 心に描いている将来の姿。

例 頭の中にすでに定年後の青写真を描かれている。/早在头脑里设想好了退休后的规划。

青筋を立てる (あおすじをたてる) → (气得) 青筋直暴

釈 額に静脈を浮き出させ、はげしく怒ったり、興奮したりする。

例 額に青筋を立てて怒る。/气得头上青筋直暴。

青田買い (あおたがい) → 买青苗 (指厂家等用人单位与刚升入毕业班的学生签定就业合同)

釈 企業が決められた新入社員採用試験期間よりも前に、優秀な人材確保のため学生、生徒の卒業の採用を約束すること。

例 青田買いをあまり派手にやられると、四年級生が落ち着かなくなつて困る。/如果听凭“买青苗”大张旗鼓地搞下去，四年级学生将会不安心学习，后果不堪设想。

青菜に塩 (あおなにしお) → 垂头丧气；无精打采

釈 青菜に塩をふりかけると、水気がぬけてしおれるところから、急に元気をなくして、しょんぼりするさまにいう。

例 彼は入社試験におちて、青菜に塩の状態だ。/他因在公司招考中落榜而垂头丧气。

青二才 (あおにいさい) → 小毛孩子；黄口孺子

釈 年が若く未熟で、経験が少ない男。

例 彼はまだ青二才だから、重要な仕事は頼めない。/他还是一个小毛孩子，不能委以重要工作。

青は藍より出でて藍よりも青し (あおはあいよりいでてあいよりもあおし) → 青出于蓝而胜于蓝

釈 弟子が師よりもぬきんでたり、教えた人よりも教えられた人のほうが優れてしまうたとえ。

例 青は藍より出でて藍よりも青しから、若者が年配の方より優れているのは、当たり前だ。/因为青出于蓝而胜于蓝，所以年轻人比老年人更厉害。

煽りを食う (あおりをくう) → 受强风袭击；因情况发生巨大变化而遭受损失

釈 強い風の衝撃をうける。周囲の激しい変化から、思わぬ被害を受ける。

例 暴風の煽りを食って十メートルも吹き飛ばされた。/一阵暴风袭来，被吹出了十多米之远。

垢が抜ける (あかがぬける) ➡ 变洋; 时髦

釈 容姿や態度、また芸事などに洗練された美しさが出る。疑いが晴れる。汚名、恥辱がすすがれる。

例 東京で大学生活をするうちに、あの子ども垢が抜けてきたね。
/到东京的大学上学之后，那孩子也变得时髦起来了。

赤くなる (あかくなる) ➡ 泛红; 通红

釈 「怒り、興奮、運動などで」さっと赤く染まる。

例 彼女は恥ずかしくて顔が赤くなった。/她羞愧得脸变得通红。

赤子の手を捻る (あかごの手をひねる) ➡ 不费吹灰之力; 轻而易举

釈 たいした力を用いず、たやすく人をやつつける、かたつけるたとえ。相手の力量が大きく劣る場合に言う。

例 今日の試合は相手が弱過ぎて、赤子の手を捻るようなものだ。/今天的比赛，因对手太弱，没费吹灰之力。

証を立てる (あかしをたてる) ➡ 证明自己清白无辜

釈 証拠をはっきり示す。証明する。

例 自ら真犯人をつきとめ、身の証を立てる。/亲自查明真正的犯人，证明自己清白无辜。

赤信号が付く (あかしんごがうがつく) ➡ 告急; (因事态所迫而) 处于紧急状态

釈 事態が差し迫ってきて、緊急に対策を講じなければならない状態になる。

例 空梅雨に終わり、東京の水不足に赤信号が付くのは必至だ。
/梅雨期无雨，东京供水告急是必然趋势。

赤の他人 (あかのたにん) ➡ 素不相识的人; 毫不相干的人

釈 全く無縁、無関係の間柄の人。

例 もう、今日から君とは赤の他人だ。/从今天起，我与你再无任何关系。

赤恥をかいた (あかはじをかいた) ➡ 出丑; 出洋相

釈 他人の前で、ひどく恥ずかしい思いをする。「赤恥」は恥を強めた言い方。

例 食事のマナーを知らなかったので、赤恥をかいた。/因为不知道进餐的规矩而出洋相了。

赤みがさす (あかみがさす) ➡ 现出红色

釈 少し赤くなる。赤い感じがする。

例 酒を飲んだので顔に赤みがさしてきた。/因喝了酒脸上现出红色。

飽きが来る (あきがくる) ➡ 膩味; 厌倦

釈 同じことが重なり、この上それを続けるのがいやになる。もう沢山だとおもう。いやげがさす。

例 こういう派手な柄は、初めのうちはいいが、そのうちに飽きが来ると思う。/这种艳丽的图案，乍一看还行，但再看就使人腻味了。

秋風が立つ (あきかぜがたつ) ➡ (「秋」和「飽」是双关语)，爱情冷淡下去；爱情出现危机

釈 男女の仲などで、相手が嫌になってくる。「秋風が吹く」とも。

例 交際が長過ぎたせいか、あの二人の間には秋風が立ちはじめたようだ。/或许是因为交往时间过长的缘故，那两个人之间的爱情似乎开始冷淡了。

秋葉山から火事 (あきはさんからかじ) ➡ 名門出逆子；枉己正人

釈 他人を戒めているうちに、おひざ元からあやまちを起こすことをいう。

例 秋葉山から火事のように、李さんは他人を戒めているうちに、おひざ元からあやまちを起こした。/就像枉己正人所说的一样，小李在劝解他人的时候，自己却犯了错误。

諦めは心の養生 (あきらめはこころのようじょう) ➡ 忘记过去，才能滋养心智；喻心宽体胖

釈 いたずらに過去の失敗をくよくよ思いわずらうのは健康にもよくない。あきらめが肝心で将来の希望に向くべきである。

例 失敗を重ねても、諦めは心の養生だから、くよくよししないでください。/即使反复失败，也请不要愁眉不展，因为忘记过去，才能滋养心智。

呆れて物が言えない (あきれてものがいえない) ➡ 吃惊得说不出话来

釈 人の服装、行為など酷さ、はなはだしさを非難、輕蔑している言葉。

例 一片の反省もなくシャーシャーと言つてのける心臓には、あきれてものも言えない。/对于他的没有一点反省、不知羞耻的行为，吃惊得说不出话来。

灰汁が強い (あくが強い) ➡ 个性倔强

釈 個性が強過ぎて、接する人々に抵抗を感じさせる様子。人の性質や書いた文章などについて用いる。

例 今年の新人賞を取った小説は灰汁が強い文章だが、なかなか迫力のある作品だ。/获得今年新人奖的小说，虽然文章个性太

強、却相当有氣勢。

灰汁が抜ける(あくがぬける)→文雅；随和圓通；洒脱；老练

釈 人の性質や趣味、芸などに癖、嫌味なくさっぱりした洗練されたものになる、垢抜ける。

例 あの人管理職になったら、上と下からもまれたためか、灰汁が抜けてきた。/那人当上干部后，也许是因为在处理上下关系中得到了磨练，变得随和圓通起来了。

悪妻は百年の不作(あくさいはひゃくねんのふさく)→娶个恶妻倒一辈子霉

釈 悪い妻をめとると自分一人だけの不運不幸にとどまらず、子孫の代まで悪い結果をおよぼす。これは女性の方からいっても同じことである。

例 あなたと結婚するのは、悪妻は百年の不作だといわれるように、私は百年の不作だ。/和你结婚就像人们所说的“娶个恶妻倒一辈子霉”，真是倒了大霉了。

悪事千里を走る(あくじせんりをはしる)→坏事行千里

釈 悪い行いの評判はかくしてもすぐ間に知れわたる。

例 本当に悪事千里を走るよ、昨日李さんと喧嘩して今日は皆に知られていた。/真是坏事传千里，昨天才和小李吵架，今天大家都知道。

悪女の深情け(あくじょのふかなさけ)→丑女情深；丑女多情；（也指）令人为难的好意

釈 容貌の醜い女性は、美人よりも情がこまやかで、また、嫉妬深いものだという。俗に、ありがた迷惑の意にも用いる。

例 悪女の深情けとやらで、彼は木村さんに惚れ込まれ、弱っているようだ。/常言道：丑女情深，他被木村缠上，看来伤透脑筋了。

アクセントを置く(アクセントをおく)→以…为重点；以…为强调点

釈 全体の中で、特にそのことに重点を置く。また、全体の調子を引き締めるために、特にその部分を目立たせる。

例 防衛力の増強にアクセントを置いた予算編成。/侧重于加强防卫能力的预算方案。

悪銭身に付かず(あくせんみにつかず)→不义之财；财悖入而悖出；不得好花(喻不劳而获的钱财因来得轻易挥霍起来也容易)

釈 ばくちなどで得た金や働かずで得た金は、そのありがたみが分からないために無駄に使われ、すぐになくなってしまうものということ。

例 競馬で大穴を当てたが、悪銭身に付かずで、あっという間に
つかってしまった。/虽然赛马中了个大冷门，但所谓不义之财无
久享，转眼间这笔钱就花了个精光。

悪態を突く (あくたい) ➔ 恶言恶语；骂人；辱骂；漫骂；痛骂

釈 口汚くののしる、目の前の人に悪口を言う。

例 兄は読み書きが全く下手で、弟の方がよほど頭がいい、と悪
態をついた。/(他)恶言恶语地说：哥哥读写都差，弟弟比哥哥
脑子好多了。

悪の温床 (あくのおんしょう) ➔ 恶语伤人；口吐秽言；坏事的温床；罪恶的渊源

釈 人を悪事に誘い込む原因を作り出している、好ましくない環
境。

例 大都会の歓楽街は悪の温床だ。/大城市的花街柳巷是滋生罪恶
的温床。

欠伸を噛み殺す (あくびをかみころす) ➔ 忍住哈欠；耐着性子

釈 出かかった欠伸を無理に止める意で、すっかり飽きてしまっ
て、いやいやながら、やむを得ず何かをし続けること。

例 校長の話を生徒は欠伸を噛み殺しながら聞いている。/学生们
耐着性子听校长讲话。

胡座をかく (あぐらをかく) ➔ 盘腿坐在日本虽然是一种比较随便的坐相，但比
较舒适；转义为大模大样，趾高气扬，得意忘形

釈 鼻が真中に大きくどかっと座っている。人、組織などが自ら
の地位、権力、特権、栄光、人気などにいい気になって努力や反
省などしない。ずうずうしく構えていることを批判して言う。

例 オリンピックの栄光に胡座をかくことを嫌い。/不喜欢在奥运
会上一拿奖牌就得意忘形的行为。

揚げ足を取る (あげあしをとる) ➔ 抓住短处；抓小辫子；吹毛求疵

釈 相手の言い損ないや言葉尻、些細な欠点をとらえて、非難し
たり言いがかりをつけたり皮肉を言ったりする。

例 あいつは人の言葉じりをとらえて、揚げ足ばかり取ってい
る。/那个家伙总是挑人家的字眼儿，抓人家的小辫子。

揚げ句の果て (あげくのはて) ➔ 结果；到头来；到了最后

釈 あの人があれこれした後、最後に。あげく。

例 私は疲れて腹ぺこだった。揚げ句の果てに雨まで降り出し
た。/我又累又饿。最后甚至还下起了雨。

上げ膳据え膳 (あげぜんすえぜん) ➔ 茶来伸手，饭来张口；坐享其成

釈 客を座らせたまま、食事の膳を前に並べ、一々給仕をしても

てなすこと。ひじょうに優遇することのたとえ。

例 今の一人っ子は、何もしないで上げ膳据え膳の生活を送っている。/现在的独生子，什么都不干，坐享其成。

明けた日は暮れる (あけたひはくれる) ➔ 年复一年；日复一日

釈 毎日毎日変わりなく、同じような状態が続いた、同じことを続けたりするようす。

例 母は家庭主婦として明けた日は暮れて家事をやっている。
/母亲作为家庭主妇，日复一日地做着家务。

上げたり下げたり (あげたりさげたり) ➔ 一褒一贬；忽左忽右；一涨一落；忽褒忽贬

釈 ある点を褒めたかと思えば、すぐ他の点を貶したりして、どっちが本音なのかつかみ所がない様子。

例 あの人の美術評は上げたり下げたりで、結局何が言いたいのかよく分からない。/那个人的美术评论忽褒忽贬的，不知他到底想说些什么。

あけっぴろげ ➔ 直爽；坦率

釈 隠し事をしないで、ありのままの自分を見せる様子。

例 父はあけっぴろげの性格で、家の経済状態もすべて子供たちに話して聞かせる。/父亲性格坦率，将家庭经济状况全部告诉孩子们。

明けても暮れても (あけてもくれても) ➔ 总是；老是；什么时候都…；日复一日

釈 同じ事が毎日毎日繰り返されるさま。また、人などが同じ事を毎日毎日繰り返すさま。

例 あの日から明けても暮れても彼女のことばかり考えている。
/从那天起，总是想着她的事。

顎が落ちる (あごがおちる) ➔ 特别好吃

釈 非常に味のよいことのたとえ。

例 顎が落ちそうなほどうまい。/好吃得不得了。

顎が外れる (あごがはれる) ➔ 大笑；笑得合不拢嘴；笑掉下巴

釈 おかしくて、笑いがとまらなくなるほど、大笑いをする様子。

例 彼の滑稽なしぐさに、みんな顎が外れるほど笑いころげた。
/他那滑稽的举止，逗得大家笑作一团。

顎が干上がる (あごがひ上がる) ➔ 穷得吃不上饭

釈 飢えて口の中が渴ききってしまうことから生計の道を失って食べるのに困る。